＜為替ヘッジあり・３ヵ月決算型＞

第32期末（2026年３月25日）	
基準価額	7,449円
純資産総額	47億円
第31期～第32期（2025年９月26日～2026年３月25日）	
騰落率	△1.2%
分配金合計	50円

（注）騰落率は分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

＜為替ヘッジあり・資産成長型＞

第16期末（2026年３月25日）	
基準価額	8,152円
純資産総額	58億円
騰落率	△1.2%
分配金	0円

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター 0120-762-506
（9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ https://www.nam.co.jp/

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

ニッセイ アセットマネジメント株式会社
NISSAY ASSET MANAGEMENT
東京都千代田区丸の内1-6-6

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド

（為替ヘッジあり・３ヵ月決算型）
（為替ヘッジあり・資産成長型）

【愛称】デニッシュ・インカム

追加型投信／海外／債券 特化型

運用報告書（全体版）

作成対象期間：2025年９月26日～2026年３月25日

＜３ヵ月決算型＞
第31期（決算日　2025年12月25日）
第32期（決算日　2026年３月25日）
＜資産成長型＞
第16期（決算日　2026年３月25日）

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

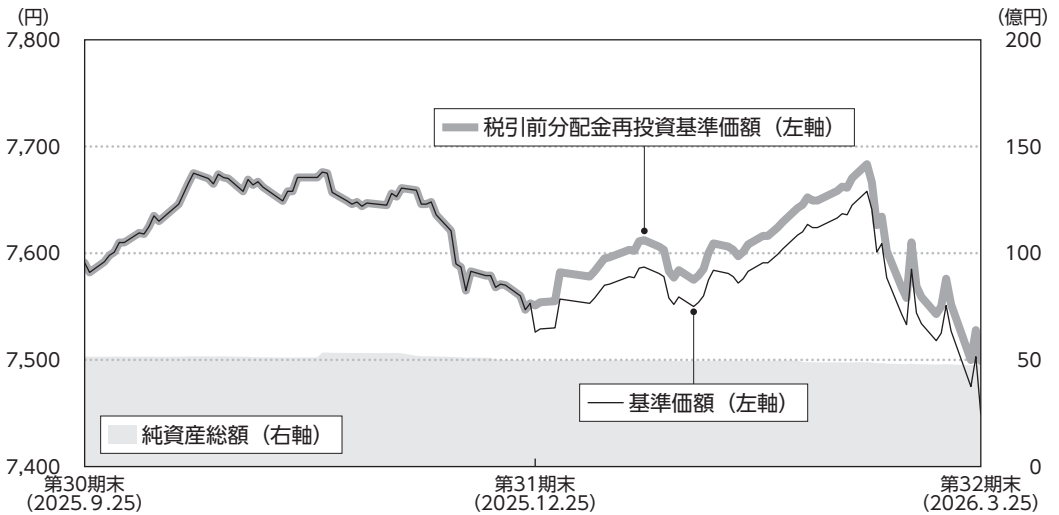
さて「ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・３ヵ月決算型）／（為替ヘッジあり・資産成長型）」は、2026年３月25日に決算を行いました。

各ファンドは、「ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

運用経過 2025年９月26日～2026年３月25日

基準価額等の推移



第31期首	7,591円	既払分配金	50円
第32期末	7,449円	騰落率（分配金再投資ベース）	△1.2%

（注１）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注３）当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

・当作成期初から10月中旬および２月に、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が上昇したこと
・12月下旬から１月にかけて、欧州長期金利が横ばい圏で推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が対国債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小を伴いながら上昇したこと
・当作成期を通じて為替ヘッジ後の利回りがプラスとなり、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

＜下落要因＞

・10月下旬から12月中旬および３月に、欧州長期金利が上昇する中、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなったこと

１万口当たりの費用明細

項目	第31期～第32期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	34円	0.452%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×期中の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は7,602円です。
（投信会社）	(17)	(0.218)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(17)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.025	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.021)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	36	0.477	

（注１）作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

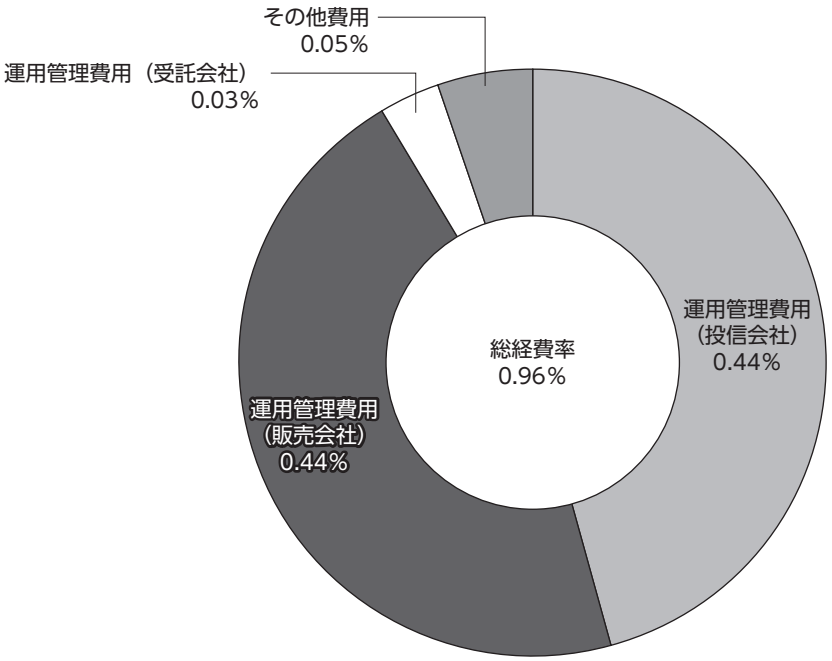
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

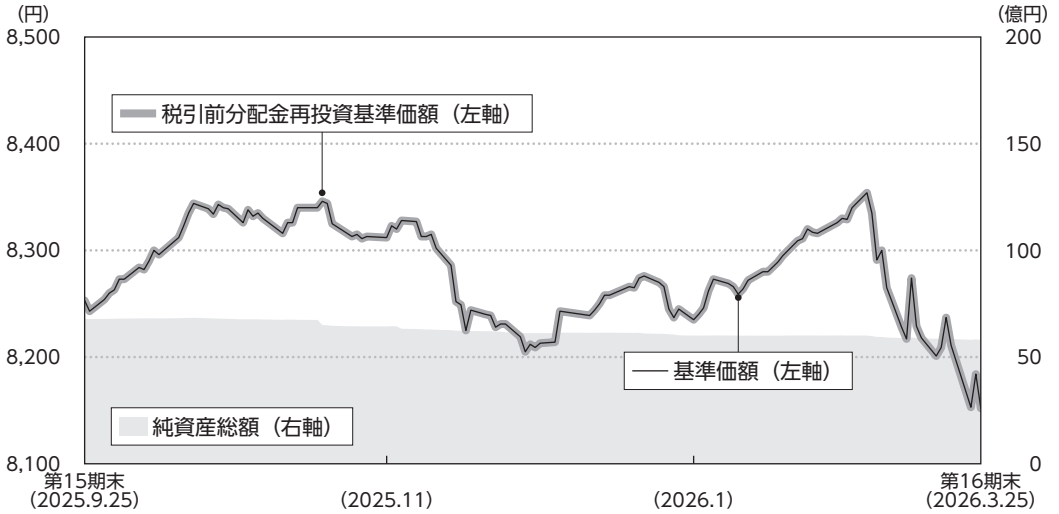
■総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

基準価額等の推移



第16期首	**8,253円**	**既払分配金**	**0円**
第16期末	**8,152円**	**騰落率**（分配金再投資ベース）	**△1.2%**

（注１）税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

（注２）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注３）当ファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

・期初から10月中旬および２月に、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が上昇したこと

・12月下旬から１月にかけて、欧州長期金利が横ばい圏で推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が対国債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）の縮小を伴いながら上昇したこと

・期を通じて為替ヘッジ後の利回りがプラスとなり、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

＜下落要因＞

・10月下旬から12月中旬および３月に、欧州長期金利が上昇する中、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなったこと

１万口当たりの費用明細

項目	第16期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	37円	0.453%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×$\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は8,280円です。
（投信会社）	(18)	(0.218)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(18)	(0.218)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
その他費用	2	0.025	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.021)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	40	0.477	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

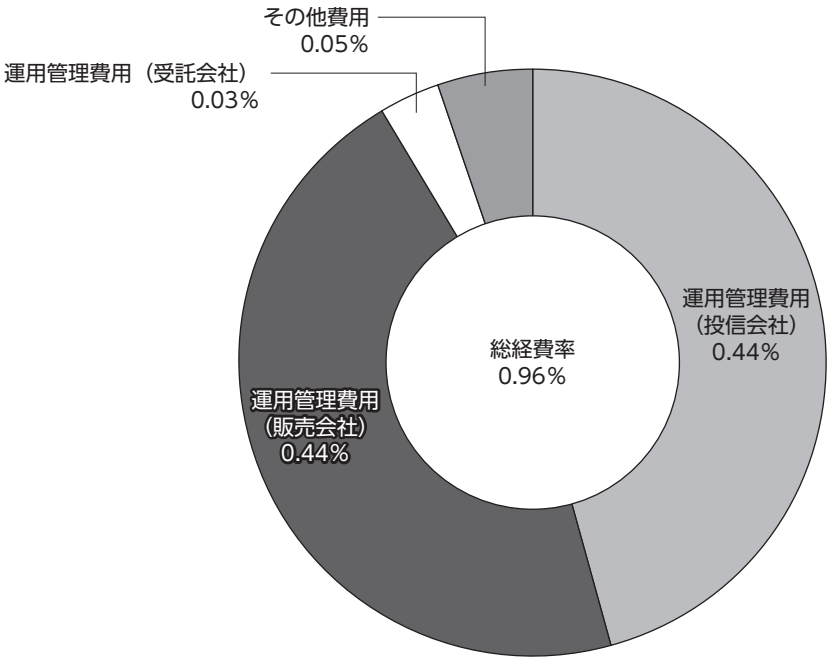
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

■総経費率

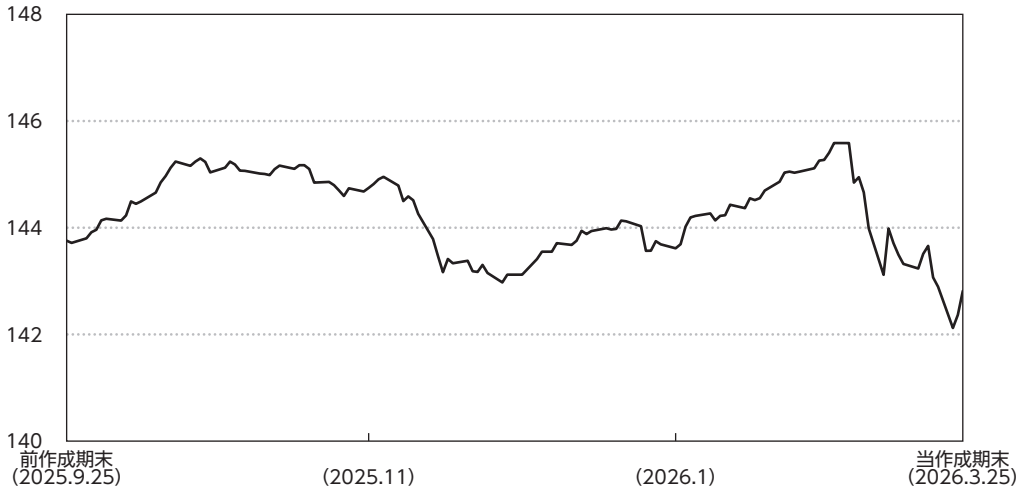
期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



（注１）１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は年率換算した値です。
（注４）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディト トータル インデックス（円ヘッジ）の推移】



（注）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

当作成期初から10月中旬にかけては、レアアース（希土類）を巡る米中貿易摩擦への懸念が再燃したことを受け、金利は低下（債券価格は上昇）基調で推移しました。その後、12月中旬にかけては米中貿易摩擦の懸念が後退したことや欧州における景況感の改善に加え、米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）で先行きの追加利下げに慎重な姿勢が示されたことによる米金利の上昇に追随するかたちで金利は上昇に転じました。12月下旬から１月にかけては、年始に債券供給が多くなる季節性が意識された一方、トランプ米政権がグリーンランド領有に反対する一部の欧州諸国への関税賦課を巡る報道を受けて金利は上下に推移しました。２月に入ると人工知能（ＡＩ）普及による既存業務代替を背景とした労働需給の悪化懸念や、ＡＩ関連の巨額投資に見合う収益性への疑念から株安となったことに加え、中東情勢の緊迫化が意識されたことで安全資産とされる国債への逃避買いが入り金利は低下しました。３月に入ると米国・イスラエルとイラン間の戦闘が勃発し、ホルムズ海峡が実質的に封鎖されたことを受け、エネルギーの価格上昇によるインフレ再燃への警戒感から金利は再び上昇しました。

デンマーク・カバード債券については、当作成期初から10月中旬にかけて、欧州長期金利が低下する中、価格は上昇しましたが、10月下旬から12月中旬にかけては、欧州長期金利の上昇を受け、それまでの上昇幅を縮小させる動きとなりました。12月下旬から１月にかけては、欧州長期金利が横ばい圏で推移する中、デンマーク・カバード債券の対国債スプレッドの縮小を伴いながら価格は上昇した後、２月に入り欧州長期金利が低下する中、一段と上昇しました。３月は欧州長期金利が上昇する中、デンマーク・カバード債券の価格は下落に転じました。

ポートフォリオ

■各ファンド

マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、各ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、各ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

■マザーファンド

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当作成期末の格付別構成比はＡＡＡ格（100.0%）であり、平均格付はＡＡＡ格を継続しました。

発行体別構成比は当作成期末時点でユスケ・レアルクレディト（29.9%）、ノルディア・クレディト（28.0%）、ニクレディト・レアルクレディト（26.7%）、レアルクレディト・デンマーク（15.4%）としています。

（注１）比率は対組入債券評価額比です。

（注２）格付はムーディーズ社、Ｓ＆Ｐ社のうち、上位の格付を採用しています。

平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、各ファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

■為替ヘッジあり・３ヵ月決算型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

■為替ヘッジあり・資産成長型

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

分配金

■為替ヘッジあり・３ヵ月決算型

当作成期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を考慮の上、下表の通りとさせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（１万口当たり）】

項目	第31期 2025年９月26日～2025年12月25日	第32期 2025年12月26日～2026年３月25日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.33%	0.33%
当期の収益	25円	25円
当期の収益以外	－	－
翌期繰越分配対象額	621円	637円

■為替ヘッジあり・資産成長型

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳（１万口当たり）】

項目	当期 2025年９月26日～2026年３月25日
当期分配金（税引前）	－
対基準価額比率	－
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	1,255円

（注１）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注２）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■各ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

■マザーファンド

欧州債券市場については中東情勢の動向に左右される展開を予想します。現在、トランプ米大統領が戦闘から離脱する可能性に言及していることに加え、イラン側からも「戦闘終結に向けた用意はある」との発言がみられるなど、早期に終結する機運が高まっていますが、戦闘の終結が宣言されるまでは日々の報道に反応して金利は上下する状況が続くとみています。戦闘の終結が決定すれば、３月に上昇した金利は落ち着きを取り戻し、徐々に低下する展開になると予想します。

デンマーク・カバード債券については、地政学リスクに関連する報道の影響を受けて価格が上下する可能性はありますが、安定したキャリー収益への投資家のニーズが根強い中、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に需要は高まるとみています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ファンドデータ

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・３ヵ月決算型）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第32期末 2026年３月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

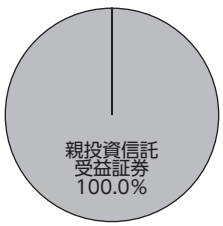
（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

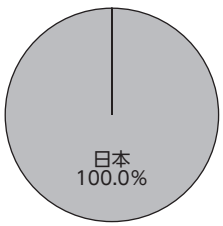
項目	第31期末 2025年12月25日	第32期末 2026年３月25日
純資産総額	4,963,560,136円	4,732,386,536円
受益権総口数	6,595,429,515口	6,353,367,891口
１万口当たり基準価額	7,526円	7,449円

（注）当作成期間（第31期～第32期）中における追加設定元本額は320,440,901円、同解約元本額は759,059,661円です。

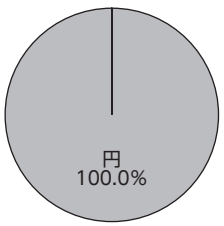
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年３月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）の組入資産の内容

■組入ファンド

	第16期末 2026年３月25日
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	100.0%

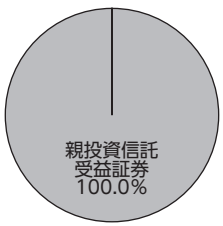
（注１）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注２）組入全ファンドを記載しています。

■純資産等

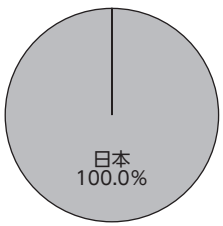
項目	第16期末 2026年３月25日
純資産総額	5,806,045,303円
受益権総口数	7,122,170,999口
１万口当たり基準価額	8,152円

（注）当期間中における追加設定元本額は19,182,914円、同解約元本額は1,122,626,126円です。

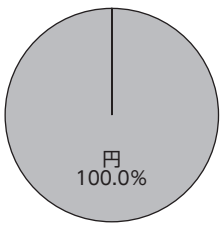
■資産別配分



■国別配分



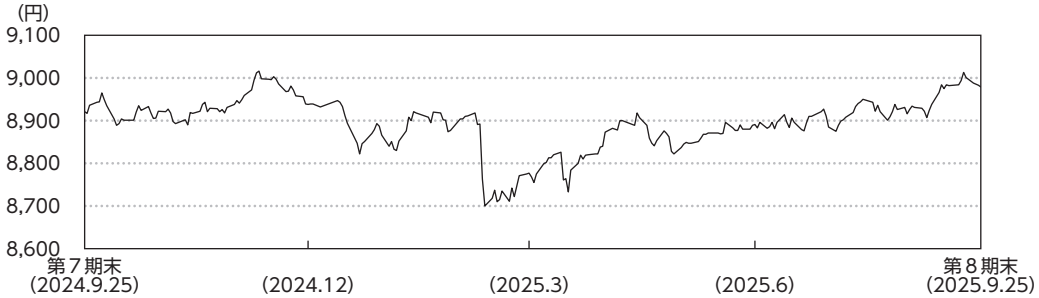
■通貨別配分



（注）資産別・国別・通貨別配分は、2026年３月25日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドの概要

■基準価額の推移



■上位銘柄

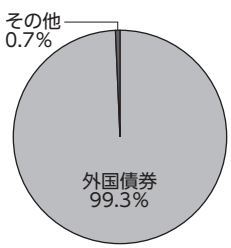
銘柄名	通貨	比率
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	18.6%
NYKREDIT REALKREDIT AS 5.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	12.8
REALKREDIT DANMARK 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	11.9
NYKREDIT REALKREDIT AS 4.0% 2056/10/1	デンマーク・クローネ	11.4
JYSKE REALKREDIT A/S 2.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	9.9
JYSKE REALKREDIT A/S 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	9.1
JYSKE REALKREDIT A/S 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	8.4
NORDEA KREDIT REALKREDIT 4.0% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	4.2
NYKREDIT REALKREDIT AS 3.5% 2053/10/1	デンマーク・クローネ	3.4
NORDEA KREDIT REALKREDIT 2.0% 2050/10/1	デンマーク・クローネ	3.1
組入銘柄数	14	

■１万口当たりの費用明細

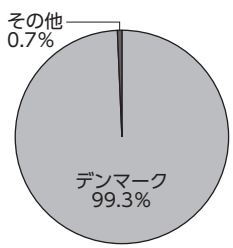
2024.９.26～2025.９.25

項目	金額
その他費用	3円
(保管費用)	(3)
(その他)	(0)
合計	3

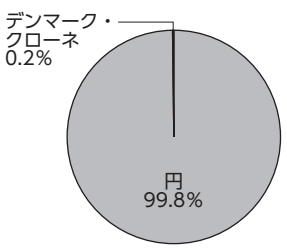
■資産別配分



■国別配分



■通貨別配分



（注１）基準価額の推移および１万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

（注２）上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2025年９月25日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

（注３）通貨別配分につきましては、為替ヘッジを加味した組入比率を記載しています。

（注４）全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

最近10期の運用実績

決算期	基準価額（分配落）	税引前分配金	期中騰落率	（ご参考）基準価額＋累計分配金	債券組入比率	純資産総額
	円	円	%	円	%	百万円
23期（2023年12月25日）	7,700	25	5.4	8,250	94.5	7,095
24期（2024年３月25日）	7,626	25	△0.6	8,201	98.7	6,780
25期（2024年６月25日）	7,524	25	△1.0	8,124	99.4	6,515
26期（2024年９月25日）	7,713	25	2.8	8,338	98.8	6,471
27期（2024年12月25日）	7,685	25	△0.0	8,335	96.0	6,112
28期（2025年３月25日）	7,504	25	△2.0	8,179	100.5	5,611
29期（2025年６月25日）	7,559	25	1.1	8,259	100.6	5,447
30期（2025年９月25日）	7,591	25	0.8	8,316	99.3	5,155
31期（2025年12月25日）	7,526	25	△0.5	8,276	100.9	4,963
32期（2026年３月25日）	7,449	25	△0.7	8,224	97.0	4,732

（注１）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注２）「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。
（注３）当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。
（注４）作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

当作成期中の基準価額と市況等の推移

年月日		基準価額	騰落率	債券組入比率
		円	%	%
第31期	（期首）2025年９月25日	7,591	－	99.3
	９月末	7,598	0.1	97.3
	10月末	7,662	0.9	99.8
	11月末	7,661	0.9	100.5
	（期末）2025年12月25日	7,551	△0.5	100.9
第32期	（期首）2025年12月25日	7,526	－	100.9
	12月末	7,557	0.4	98.0
	2026年１月末	7,584	0.8	98.5
	２月末	7,645	1.6	97.9
	（期末）2026年３月25日	7,474	△0.7	97.0

（注）期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年９月26日～2026年３月25日

	第31期～第32期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	270,606	245,788	701,330	633,906

（注）単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年９月26日～2026年３月25日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年３月25日現在

種類	第30期末	第32期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	5,742,158	5,311,434	4,732,487

（注１）単位未満は切り捨てています。

（注２）当作成期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は11,827,923千口です。

投資信託財産の構成

2026年３月25日現在

項目	第32期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	4,732,487	99.3
コール・ローン等、その他	32,192	0.7
投資信託財産総額	4,764,680	100.0

（注１）外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお３月25日における邦貨換算レートは、１デンマーク・クローネ24.69円です。

（注２）ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（10,297,729千円）の投資信託財産総額（10,585,231千円）に対する比率は97.3%です。

（注３）評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年12月25日) (2026年3月25日)現在

項目	第31期末	第32期末
(A) 資産	4,995,656,895円	4,764,680,302円
コール・ローン等	11,113,088	10,323,706
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド(評価額)	4,963,673,276	4,732,487,762
未収入金	20,870,531	21,868,834
(B) 負債	32,096,759	32,293,766
未払収益分配金	16,488,573	15,883,419
未払解約金	3,739,216	5,241,669
未払信託報酬	11,762,510	11,067,242
その他未払費用	106,460	101,436
(C) 純資産総額(A－B)	4,963,560,136	4,732,386,536
元本	6,595,429,515	6,353,367,891
次期繰越損益金	△1,631,869,379	△1,620,981,355
(D) 受益権総口数	6,595,429,515口	6,353,367,891口
1万口当たり基準価額(C／D)	7,526円	7,449円

(注１) 当作成期首元本額 6,791,986,651円
当作成期中追加設定元本額 320,440,901円
当作成期中一部解約元本額 759,059,661円

(注２) 元本の欠損
当作成期末の純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,620,981,355円です。

損益の状況

(第31期　2025年９月26日～2025年12月25日)
(第32期　2025年12月26日～2026年３月25日)

項目	第31期	第32期
(A) 配当等収益	5,922円	8,203円
受取利息	5,922	8,203
(B) 有価証券売買損益	△ 17,039,552	△ 21,964,355
売買益	2,650,521	2,195,835
売買損	△ 19,690,073	△ 24,160,190
(C) 信託報酬等	△ 11,868,970	△ 11,168,678
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 28,902,600	△ 33,124,830
(E) 前期繰越損益金	△1,648,666,463	△1,631,017,918
(分配準備積立金)	(178,531,181)	(183,650,404)
(繰越欠損金)	(△1,827,197,644)	(△1,814,668,322)
(F) 追加信託差損益金＊	62,188,257	59,044,812
(配当等相当額)	(218,541,791)	(211,203,523)
(売買損益相当額)	(△ 156,353,534)	(△ 152,158,711)
(G) 合計(D＋E＋F)	△1,615,380,806	△1,605,097,936
(H) 収益分配金	△ 16,488,573	△ 15,883,419
次期繰越損益金(G＋H)	△1,631,869,379	△1,620,981,355
追加信託差損益金	62,188,257	59,044,812
(配当等相当額)	(219,149,037)	(211,206,836)
(売買損益相当額)	(△ 156,960,780)	(△ 152,162,024)
分配準備積立金	190,748,589	193,939,219
繰越欠損金	△1,884,806,225	△1,873,965,386

(注１) **(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注２) **(C)信託報酬等**は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注３) **(E)前期繰越損益金**とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注４) **(F)追加信託差損益金＊**とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	第31期	第32期
(ａ) 経費控除後の配当等収益	28,705,981円	26,172,234円
(ｂ) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(ｃ) 信託約款に定める収益調整金	219,149,037円	211,206,836円
(ｄ) 信託約款に定める分配準備積立金	178,531,181円	183,650,404円
(ｅ) 分配対象額(ａ＋ｂ＋ｃ＋ｄ)	426,386,199円	421,029,474円
(ｆ) 分配対象額(１万口当たり)	646.49円	662.69円
(ｇ) 分配金	16,488,573円	15,883,419円
(ｈ) 分配金(１万口当たり)	25円	25円

＜課税上の取り扱いについて＞

・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

・受益者は普通分配金に対し課税されます。

・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

最近５期の運用実績

決算期	基準価額（分配落）	税引前分配金	期中騰落率	（ご参考）基準価額＋累計分配金	債券組入比率	純資産総額
	円	円	%	円	%	百万円
12期(2024年３月25日)	8,128	0	4.7	8,128	98.7	8,726
13期(2024年９月25日)	8,275	0	1.8	8,275	98.8	8,057
14期(2025年３月25日)	8,105	0	△2.1	8,105	100.5	7,215
15期(2025年９月25日)	8,253	0	1.8	8,253	99.3	6,788
16期(2026年３月25日)	8,152	0	△1.2	8,152	97.0	5,806

（注１）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。
（注２）「基準価額＋累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。
（注３）当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率
	円	%	%
(期首)2025年９月25日	8,253	－	99.3
９月末	8,260	0.1	97.3
10月末	8,330	0.9	99.8
11月末	8,328	0.9	100.5
12月末	8,243	△0.1	98.0
2026年１月末	8,273	0.2	98.5
２月末	8,340	1.1	97.9
(期末)2026年３月25日	8,152	△1.2	97.0

（注）期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

2025年９月26日～2026年３月25日

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	17,640	15,927	1,061,665	960,891

（注）単位未満は切り捨てています。

利害関係人との取引状況等

2025年９月26日～2026年３月25日

当期における利害関係人との取引はありません。

親投資信託残高

2026年３月25日現在

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	7,560,514	6,516,489	5,806,192

（注１）単位未満は切り捨てています。

（注２）当期末におけるニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド全体の口数は11,827,923千口です。

投資信託財産の構成

2026年３月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	5,806,192	99.5
コール・ローン等、その他	29,092	0.5
投資信託財産総額	5,835,284	100.0

（注１）外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお３月25日における邦貨換算レートは、１デンマーク・クローネ24.69円です。

（注２）ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（10,297,729千円）の投資信託財産総額（10,585,231千円）に対する比率は97.3%です。

（注３）評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

（2026年３月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	**5,835,284,921円**
コール・ローン等	27,697,870
ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド(評価額)	5,806,192,388
未収入金	1,394,663
(B) 負債	**29,239,618**
未払解約金	509,763
未払信託報酬	28,487,425
その他未払費用	242,430
(C) 純資産総額(A－B)	**5,806,045,303**
元本	7,122,170,999
次期繰越損益金	△1,316,125,696
(D) 受益権総口数	**7,122,170,999口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**8,152円**

（注１）期首元本額　8,225,614,211円
期中追加設定元本額　19,182,914円
期中一部解約元本額　1,122,626,126円

（注２）元本の欠損
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,316,125,696円です。

損益の状況

当期（2025年９月26日～2026年３月25日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**42,893円**
受取利息	42,893
(B) 有価証券売買損益	**△ 43,082,831**
売買益	7,900,823
売買損	△ 50,983,654
(C) 信託報酬等	**△ 28,729,855**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 71,769,793**
(E) 前期繰越損益金	**△1,451,176,838**
(分配準備積立金)	(581,010,381)
(繰越欠損金)	(△2,032,187,219)
(F) 追加信託差損益金＊	**206,820,935**
(配当等相当額)	(249,274,556)
(売買損益相当額)	(△ 42,453,621)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△1,316,125,696**
次期繰越損益金(G)	**△1,316,125,696**
追加信託差損益金	206,820,935
(配当等相当額)	(249,312,372)
(売買損益相当額)	(△ 42,491,437)
分配準備積立金	645,175,785
繰越欠損金	△2,168,122,416

（注１）**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。

（注２）**(C)信託報酬等**は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

（注３）**(E)前期繰越損益金**とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

（注４）**(F)追加信託差損益金＊**とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

分配金の計算過程

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	64,165,404円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	249,312,372円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	581,010,381円
(e) 分配対象額(a＋b＋c＋d)	894,488,157円
(f) 分配対象額(1万口当たり)	1,255.92円
(g) 分配金	0円
(h) 分配金(1万口当たり)	0円

運用者情報

■当社運用担当者情報について

・当社の運用担当者情報はHP上よりご確認いただけます。

■ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・３ヵ月決算型）

https://www.nam.co.jp/fundinfo/ndcsf3/main.html

■ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）

https://www.nam.co.jp/fundinfo/ndcsfs/main.html

各ファンドの概要

		為替ヘッジあり・３ヵ月決算型	為替ヘッジあり・資産成長型
商品分類		追加型投信／海外／債券 特化型	
信託期間		2018年４月16日～2028年９月25日	
運用方針		①ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券への投資を通じて、デンマーク・カバード債券を実質的な主要投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 ②実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。	
主要運用対象	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド受益証券	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	デンマーク・カバード債券等	
運用方法	ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
	ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針		毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。

【受益者の皆様へ】法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの当期運用状況をご報告申し上げます。

ニッセイ・デンマーク・カバード債マザーファンド

運用報告書

第 8 期

（計算期間：2024年９月26日～2025年９月25日）

運用方針	①主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。 ②外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、対円での為替変動リスクの低減を図ることをめざします。

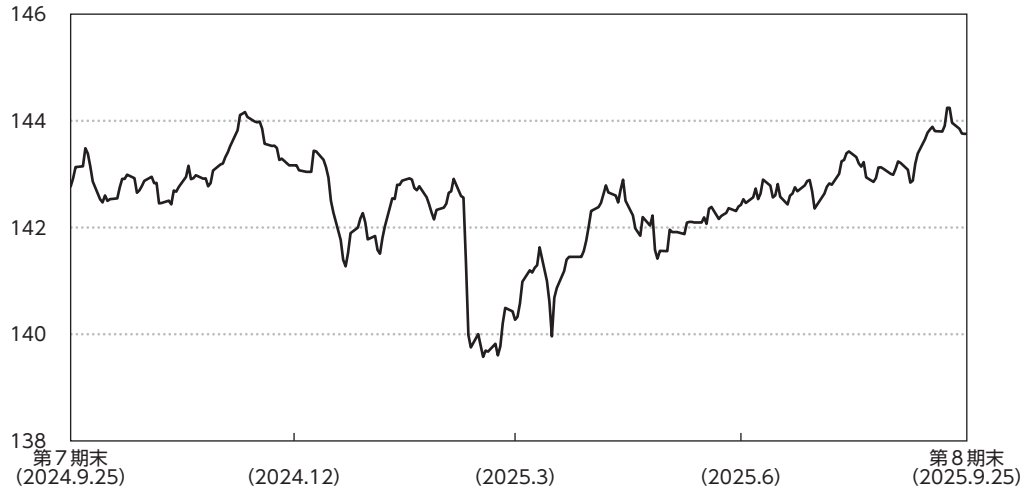
主要運用対象	デンマーク・カバード債券等
運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ニッセイ アセットマネジメント株式会社
NISSAY ASSET MANAGEMENT
東京都千代田区丸の内1-6-6

運用経過 2024年９月26日～2025年９月25日

デンマーク・カバード債券市況

【ニクレディト トータル インデックス（円ヘッジ）の推移】

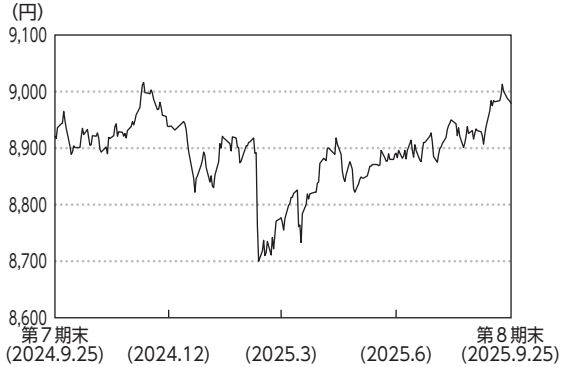


（注）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成しています。

期初から2024年11月上旬にかけては、米大統領選におけるトランプ氏の当選に加え、共和党が上下両院の過半数を確保したことを受けて金利は上昇（債券価格は下落）しましたが、その後はトランプ氏が大統領就任後に中国・メキシコ・カナダに対して関税の引き上げを発表したことにより、世界的な経済成長の減速が懸念され11月下旬には低下しました。12月から2025年１月中旬にかけては、欧州中央銀行（ＥＣＢ）が12月の理事会で政策金利の引き下げを決定したものの、ラガルドＥＣＢ総裁の会見が想定されていたほど金融緩和に前向きな姿勢ではなかったことや、事業会社の旺盛な起債を背景に金利は上昇基調となりました。その後、２月上旬にかけてはＥＣＢが政策金利の追加引き下げを決定したことや経済指標の悪化を受けて金利は低下しましたが、２月中旬以降はドイツが大規模な財政拡張案を発表したことなどから財政悪化懸念が意識され大きく上昇しました。その後は米国の相互関税発表と中国の報復関税により金利は乱高下しましたが、４月17日のＥＣＢ理事会で再び政策金利の引き下げが決定され、今後の追加利下げにも前向きな姿勢が示されたため低下しました。５月には米国と中国が相互関税の引き下げに合意し、関税政策の緩和を受けて金利は上昇に転じました。６月以降はＥＣＢが政策金利の引き下げを決定したものの、ラガルドＥＣＢ総裁が政策スタンスの緩和サイクル終了を示唆したことに加え、ドイツの国債発行増加や米国の減税法案成立など、世界的に財政拡張への懸念が高まり金利は上昇しました。また、米国と各国との関税協議が進展し、過度な景気後退懸念が薄れたことを背景に金利は上昇基調で推移しました。その後も７月と９月のＥＣＢ理事会で政策金利が据え置かれたことや、ラガルドＥＣＢ総裁の会見を受けて利下げ観測が後退したことにより、当期末にかけて金利は上昇基調となりました。

デンマーク・カバード債券については、期初から2024年11月上旬にかけて欧州長期金利が上昇する中、価格は下落しました。11月中旬から月末にかけては欧州長期金利が低下基調で推移する中、価格は上昇する場面も見られましたが、12月以降は欧州長期金利が上昇基調で推移する中、下落しました。その後、2025年４月末にかけて米国の関税政策による緊張感の高まりから乱高下しつつも、欧州長期金利が低下する中、価格は上昇基調で推移しました。５月は欧州長期金利の上昇により価格は上昇幅を縮小しましたが、６月以降は欧州長期金利が上昇基調を維持する一方、デンマーク・カバード債券のスプレッド（国債に対する上乗せ金利）が縮小したことにより上昇しました。

基準価額等の推移



（注）当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

■基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

・2024年11月中旬から12月上旬および2025年３月中旬から４月末にかけて、欧州債券市場がおおむね堅調な地合いで推移する中、デンマーク・カバード債券の価格が上昇したこと

・６月以降、デンマーク・カバード債券のスプレッドが縮小したことにより価格が上昇したこと

・期を通じてデンマーク中央銀行がＥＣＢに追随して利下げを実施したことにより、為替ヘッジ後の利回りがプラスとなり、キャリー収益（債券を一定期間保有することで獲得できる利回り分等の収益）を確保したこと

＜下落要因＞

・2024年12月中旬から2025年３月上旬および５月に、欧州長期金利が上昇（債券価格は下落）する中、デンマーク・カバード債券も軟調な値動きとなったこと

ポートフォリオ

主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

当期末の格付別構成比はＡＡＡ格（100.0%）であり、平均格付はＡＡＡ格を継続しました。

発行体別構成比は当期末時点でユスケ・レアルクレディト（28.6%）、ニクレディト・レアルクレディト（28.2%）、ノルディア・クレディト（28.1%）、レアルクレディト・デンマーク（15.0%）としています。

（注１）比率は対組入債券評価額比です。

（注２）格付はムーディーズ社、Ｓ＆Ｐ社のうち、上位の格付を採用しています。
平均格付とは、当マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当マザーファンドにかかる格付ではありません。

ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、主にデンマーク・カバード債券を投資対象とし、安定したインカム収益の確保および信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行うことから、ベンチマークなどを設けていません。

今後の運用方針

欧州債券市場についてはレンジ圏での推移を予想します。ラガルドＥＣＢ総裁を筆頭に複数のＥＣＢ高官が様子見姿勢を強めているほか、米国と欧州連合（ＥＵ）が関税交渉で合意したことなどを背景に景況感が改善しつつあり、追加利下げ観測は後退しています。一方、キャリー（金利）水準の改善から債券需要は高まりやすく、金利が上昇したタイミングでは投資家からの買い支えが期待できることから、当面はレンジ圏でのもみ合い推移になると予想しています。

デンマーク・カバード債券については、各国の政策金利の引き下げに伴ってキャリー収益への選好姿勢が高まる中、相対的に高い信用力と良好な利回りを背景に需要は高まるとみています。

デンマーク・カバード債券の価格動向は、期限前償還リスクや国債利回りの動きに左右されやすいことから、状況を注視し適切にクーポン構成等を見直します。相対的に高い利回りから得られるインカム収益の確保と安定的なパフォーマンスの達成をめざし信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

また、発行体の信用力に差がある一方で、同一条件のカバード債券の利回りはほぼ同じという市場特性を鑑み、発行体別構成比については発行体銀行や親銀行の信用力等を勘案し、適切なポートフォリオ構成を検討していく方針です。

なお、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

お知らせ

■約款変更

運用報告書に関する記載の変更を行うため関連条項に所要の変更を行いました。

（2025年４月１日）

最近５期の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率	債券組入比率	純資産総額
	円	%	%	百万円
4期（2021年９月27日）	10,419	△ 4.7	97.7	51,590
5期（2022年９月26日）	8,200	△21.3	97.8	24,720
6期（2023年９月25日）	8,290	1.1	99.1	18,128
7期（2024年９月25日）	8,921	7.6	98.8	14,812
8期（2025年９月25日）	8,979	0.7	99.3	11,943

当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債券組入比率
	円	%	%
（期首）2024年９月25日	8,921	－	98.8
９月末	8,943	0.2	97.3
10月末	8,898	△0.3	101.8
11月末	8,959	0.4	94.6
12月末	8,932	0.1	94.6
2025年１月末	8,852	△0.8	95.4
２月末	8,911	△0.1	94.9
３月末	8,799	△1.4	96.5
４月末	8,878	△0.5	99.2
５月末	8,847	△0.8	98.0
６月末	8,882	△0.4	99.6
７月末	8,902	△0.2	97.7
８月末	8,931	0.1	98.2
（期末）2025年９月25日	8,979	0.7	99.3

（注）騰落率は期首比です。

１万口当たりの費用明細

2024年９月26日～2025年９月25日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
その他費用	3円	0.039%	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.039)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	3	0.039	

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（8,893円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入しています。

売買および取引の状況

2024年９月26日～2025年９月25日

公社債

			買付額	売付額
外国	デンマーク	社債券	千デンマーク・クローネ 39,980	千デンマーク・クローネ 165,648 (44,051)

（注１）金額は受渡代金です（経過利子分は含まれていません）。

（注２）（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

（注３）金額の単位未満は切り捨てています。ただし、金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

主要な売買銘柄

2024年９月26日～2025年９月25日

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
NYKREDIT REALKREDIT AS	599,082	NORDEA KREDIT REALKREDIT	966,026
NYKREDIT REALKREDIT AS	130,987	NYKREDIT REALKREDIT AS	748,261
NORDEA KREDIT REALKREDIT	129,428	JYSKE REALKREDIT A/S	666,542
－	－	NYKREDIT REALKREDIT AS	360,554
		NYKREDIT REALKREDIT AS	245,485
		JYSKE REALKREDIT A/S	217,642
		JYSKE REALKREDIT A/S	111,935
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	102,471
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	71,077
		NYKREDIT REALKREDIT AS	64,400

（注１）金額は受渡代金（経過利子分は含まれていません）で、外国公社債は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

（注２）金額の単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

2025年９月25日現在

外国（外貨建）公社債

区分	当期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			５年以上	２年以上	２年未満
	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	%	%	%	%	%
デンマーク	542,741	506,977	11,863,267	99.3	－	99.3	－	－
合計	－	－	11,863,267	99.3	－	99.3	－	－

（注１）外貨建金額は、原則として証券会社、価格情報会社等より入手した時価により評価したものです。また邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。以下同じです。

（注２）組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額（評価額）の比率です。

（注３）格付については証券会社、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（注４）額面金額および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、額面金額および評価額が単位未満の場合は、小数で記載しています。以下同じです。

（外国公社債の内訳）

銘柄名			利率	償還年月日	額面金額	評価額	
							邦貨換算金額
デンマーク			%		千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円
	社債券	JYSKE REALKREDIT A/S	1.5000	2050/10/01	6,141	4,968	116,264
		JYSKE REALKREDIT A/S	2.0000	2050/10/01	53,440	46,362	1,084,884
		JYSKE REALKREDIT A/S	2.5000	2053/10/01	55,873	50,550	1,182,876
		JYSKE REALKREDIT A/S	4.0000	2053/10/01	42,681	42,994	1,006,078
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2050/10/01	18,033	15,660	366,461
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.0000	2053/10/01	12,384	10,414	243,703
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	2.5000	2053/10/01	105,027	95,123	2,225,895
		NORDEA KREDIT REALKREDIT	4.0000	2053/10/01	21,231	21,408	500,948
		NYKREDIT REALKREDIT AS	1.0000	2053/10/01	2,908	2,280	53,361
		NYKREDIT REALKREDIT AS	3.5000	2053/10/01	17,795	17,445	408,216
		NYKREDIT REALKREDIT AS	5.0000	2053/10/01	62,923	65,494	1,532,578
		NYKREDIT REALKREDIT AS	4.0000	2056/10/01	57,837	57,979	1,356,730
		REALKREDIT DANMARK	2.0000	2050/10/01	70,011	60,724	1,420,963
		REALKREDIT DANMARK	3.0000	2053/10/01	16,451	15,568	364,303
合計			－	－	－	－	11,863,267

投資信託財産の構成

2025年９月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	11,863,267	97.1
コール・ローン等、その他	355,628	2.9
投資信託財産総額	12,218,895	100.0

（注１）外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお９月25日における邦貨換算レートは、１デンマーク・クローネ23.40円です。

（注２）外貨建純資産（11,954,747千円）の投資信託財産総額（12,218,895千円）に対する比率は97.8％です。

（注３）評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

（2025年９月25日現在）

項目	当期末
(A) 資産	**24,682,035,493円**
コール・ローン等	261,044,993
公社債(評価額)	11,863,267,087
未収入金	12,467,558,986
未収利息	90,164,427
(B) 負債	**12,738,094,444**
未払金	12,714,190,728
未払解約金	23,903,716
(C) 純資産総額(A－B)	**11,943,941,049**
元本	13,302,673,195
次期繰越損益金	△ 1,358,732,146
(D) 受益権総口数	**13,302,673,195口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**8,979円**

（注１）期首元本額　16,603,301,167円
期中追加設定元本額　68,680,937円
期中一部解約元本額　3,369,308,909円

（注２）当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・３ヵ月決算型）
5,742,158,265円
ニッセイ・デンマーク・カバード債券ファンド（為替ヘッジあり・資産成長型）
7,560,514,930円

（注３）元本の欠損
純資産総額は元本額を下回っており、その差額は1,358,732,146円です。

損益の状況

当期（2024年９月26日～2025年９月25日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**442,310,634円**
受取利息	442,310,634
(B) 有価証券売買損益	**△ 373,756,665**
売買益	2,252,442,311
売買損	△2,626,198,976
(C) 信託報酬等	**△ 5,168,369**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**63,385,600**
(E) 前期繰越損益金	**△1,790,689,802**
(F) 追加信託差損益金	**△ 7,639,027**
(G) 解約差損益金	**376,211,083**
(H) 合計(D＋E＋F＋G)	**△1,358,732,146**
次期繰越損益金(H)	**△1,358,732,146**

（注１）**(B)有価証券売買損益**は、期末の評価換えによる損益を含みます。

（注２）**(F)追加信託差損益金**とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

（注３）**(G)解約差損益金**とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。